

1 学期終業式 校長あいさつ

4月7日の始業式・入学式から本日まで、皆さんには「チーム宜野座」として一人ひとりが役割をこなしながら、普段の授業、学級活動や部活動に参加・協力してもらい、ありがとうございました。

1学期の最初でも野球部の春季大会優勝の話から入りました。1学期の最後も野球部の夏の大会ベスト4の話になるようです。野球部がやり遂げた成果は昨年の秋季大会の2回戦敗退から約1年間、厳しい練習を通して一人ひとりが努力を重ねた結果です。野球部の成長を支えたのは努力の積み重ねであるし、春季大会優勝からさらに進歩した成長を見せてくれました。逆転あり、サヨナラありと粘りの試合展開で、逆転の宜野座野球を遺憾なく発揮してくれたと思います。野球部の皆さん本当にありがとうございます。そして球場に駆けつけてくれた皆さん、テレビの向こうで応援してくれた皆さんにもありがとうございました。

さて、夏の大会はベスト4という結果で終えましたが、野球部の皆さんは満足しているでしょうか、特に試合直後は悔しくてたまらなかったと思います。あそこで1本ヒットが出ていたらとか、相手に追加点を与えないようにできなかったのかといろいろ考えたことだろうと思います。野球部の次の活動はすでに始まっています。新チームとして、夏の大会を振り返り、悔しさを引き継ぎ、自分達に足りないものは何だったのか、宜野座野球を発揮するためにどう練習したらいいのかとすでに計画を立てているはずです。ベスト4という結果に満足することなく、振り返りを踏まえて今後の見通しを立てているのです。

実はこの振り返りを踏まえて見通しを立てるというのはとても大事なことです。今日は1学期の終業式です。皆さん一人ひとり1学期を振り返るときに、役割をこなすという視点から振り返ってみましょう。

さあ、皆さん、各学級や部活動での皆さんの役割は何ですか、役割をこなすことはできましたか。この役割をこなす、役割をやり遂げる、役割を全うするというのはとても大事なことで、生徒同士、生徒と先生と、お互いの約束の一つだと言えます。自分の役割をこなさないで、約束が守られないようなことがあれば信頼関係が崩れ、大変なことになります。

皆さんも自分の役割をきちんとこなせたかどうか振り返ってください、もし心当たりがあるなら改善するよう肝に銘じ、お互いがいい時間を過ごせるように自分の役割について考えてみて下さい。役割をこなすということは、皆さんが成長する一歩だと思います。また、役割をやり通すことが成長する努力をすることだと考えます。努力を積み重ね、一歩ずつ前に進んでいくことが皆さんの成長だと思います。「チーム宜野座」としても大事にしたいことです。

そして、夏休みが始まります。やり残すことがないよう有意義な時間を過ごしてもらいたいと思います。そこで、有意義な時間の過ごし方に一つ入れてもらいたいことがあります。地域人材としてボランティア活動に取り組んでももらいたいと思います。1学期はボランティア部を

中心に図書館の読み聞かせ、子ども食堂の手伝い、子どもオリンピックの競技役員にご協力いただきました。本当にありがとうございます。8月には陸上競技大会の競技役員もあります。手伝ってもらえる皆さんには感謝しますが、また各地区にはラジオ体操や公民館での勉強会が行われるはずです。もちろん、自分の勉強や進路実現に向けての取組、部活動も大事ですが、地域の一人として地域の手伝いをする 것도 大事なことだと思います。ボランティア活動にぜひ挑戦してみてください。地域のなかで自分の役割を探す、役割をつくる、皆さんが地域に対して何ができるのかを考えてみましょうということです。さらに、先生方は、ここにいる皆さん全員が安全に安心して夏休みが過ごし、9月1日の始業式に元気に登校することを願っています。何かをやり遂げた姿を見せて下さい。

ところで今年度の「チーム宜野座」のコンセプトは何でしたか、今年は、聞くことに重心を置きたいと思い、「人の話は耳で聞く、目で聞く、心で聞く」をコンセプトにしようと言いましたが憶えていますか。言葉を聞くほうの姿勢を大事にしようと思います。コミュニケーションはことばのキャッチボールです。いい言葉を発しているのですから、相手に耳を傾け、目で見つめ、心を相手に向けましょうということです。これまでも先生方に、おへそを相手に向けるとか、相手を見るとか言われたことがあると思いますが、体の姿勢と心の姿勢を同様に相手に向けましょう。繰り返しますよ「人の話は耳で聞く、目で聞く、心で聞く」です、よろしくお願いします。

では、私の話が皆さんの心に届いていることを期待して、1学期終業式のあいさつとします。静かに聞いてくれてありがとうございました。